

Eco-DRR に関する現地視察及び意見交換会

1. 背景・目的

- 『令和 6 年度気候変動適応地域づくり推進事業北海道地域業務』において、令和 4 年度に策定した気候変動適応広域アクションプラン（釧路湿原等の Eco-DRR 機能の保全）の普及・実装に向けたフォローアップ業務を実施する。
- 自治体において Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）の検討が進まない理由として、生態系の保全・再生を行うことがいかに水害や土砂災害の発生抑制につながるのか、あるいは自然災害リスクを低減させるための土地利用がいかに生物多様性の保全にもつながるのか、など基本的な関係性を十分に理解できていない面が挙げられる。
- 今年度のフォローアップ業務では、自治体職員が生態系の保全・再生を通じて防災・減災や生物多様性を含めた地域の課題を複合的に解決しようとする取り組みを身近に感じられるように、また、生態系の保全方法は多様で取り組みやすい方法もあることを実感できるよう、生態系を活用した防災・減災が実装（機能）している場所の現地視察を計画した。視察を通じて、自治体による Eco-DRR の促進に役立つ知見を得ることを目指す。

2. 実施概要

- 自治体職員が、洪水緩和に向けた湿地の保全・再生や、土砂災害の防止や水源涵養を目的とした森林整備、沿岸域の海岸防災林や河川の水害防備林の保全など、様々な自然災害を対象とした幅広い取組に触れ学びを得ることを目的に、年度内に合計 2 回の現地視察を実施する。
- 第 2 回の現地視察では、視察終了後に本業務のアドバイザー（北海道立総合研究機構 野口泉氏）より防災に関する情報提供を行って頂き、参加者との意見交換会を実施する。
- 第 1 回、第 2 回の視察予定地を表 1 及び表 2 に示す。参加者は所在自治体および近隣自治体から募集する予定で、10 名～20 名程度を想定している。
- 実施主体の事業者等へ（1）視察地に関する事前の情報提供、（2）現地視察の案内、質疑への対応を依頼する。

<表 1> 第1回視察予定地（10月～11月頃の実施を想定。）

事業名 (地域名)	実施主体	区分	所在自治体 (近隣自治体)
1-1. 『水と生きもの の郷 トゥ・ペツ』 < https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/sapporo_kasen/gburoi000000pr6d.html > (参照 2024-08-27)	札幌開発建設部	事業タイプ・ステータス：利用中/一般市民利用/ <u>普通種対象</u> /無補償/積極的な復旧必要 生態系タイプ：河川/湖沼/河畔林/湿地/草原	当別町 (新十津川町、浦臼町、月形町、新篠津村、江別市、札幌市、石狩市)
1-2. 『石狩川下流幌 向地区自然再生』 < https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/ebetukasen/kluhh40000005vas.html > (参照 2024-08-27)	札幌開発建設部	事業タイプ・ステータス：利用中/利用者/ <u>希少種対象</u> /無補償/復旧必要 生態系タイプ：高層湿原/草地/河川/河畔林	岩見沢市 (美唄市、月形市、三笠市、栗山町、長沼町、南幌町、新篠津村、江別市)
1-3. (調整中)	(調整中)	(調整中)	(調整中)

<表 2> 第2回視察予定地（2025年1月頃の実施を想定。）

事業名 (地域名)	実施主体	区分	所在自治体 (近隣自治体)
2-1. 『砂川オアシス パーク（砂川遊水 地）』 < https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/kankou/oasis_park.html >（参照 2024-08-27）	札幌開発建設部	事業タイプ・ステータス： 利用中/ <u>一般市民利用都市・地域再生等 利用区域</u> 生態系タイプ：遊水地/河川 活動のタイプ：自然環境の保全、復元、活用/土地取得/自然保護思想の普及啓発/環境教育	砂川市 (滝川市、赤平市、歌志内市、上砂川町、奈井江町、浦臼町、新十津川町)

以上